

## 麻疹（はしか）の予防について

麻疹は麻疹ウィルスによって引き起こされる急性熱性発疹性の感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染などの感染経路を持つ感染力が大変強い疾患で、免疫がないと、ほぼ100%発病します。日本では年間10～20万人が感染すると推計されており、小児期の代表的な感染症ですが、最近、10代から20代の成人麻疹が増えており、20代で免疫のないもしくは免疫力が低下している人が約40万人いると推計されています。

麻疹の確実な予防には麻疹ワクチンの2回接種が必要ですが、現在の10代から20代の人たちの大半は1回しか接種していません。平成19年春に高校・大学で麻疹の流行が見られたのはこの世代の免疫力が不十分であったことが原因とされています。これを受けて、中学高校では平成20年4月から向こう5年間、高校3年生と中学1年生を対象に2回目のワクチン接種をすることが決定されています。

大学においても平成19年の流行を踏まえて、現在も対策をとっているところです。初春から初夏にかけての麻疹の流行期に向けて、自分自身の感染予防と集団感染予防のために、宇都宮大学の10代～20代の学生・院生・教職員の方たちも、それぞれに、抗体検査および2回目のワクチン接種による対処をお願いいたします。

### 新入生の皆さんと保護者の方へ

- 1) 入学手続に関する手引のなかにある保健調査票の[1]予防接種歴を母子手帳などで確認の上、接種年月日を記入して下さい。
- 2) これまで麻疹ワクチンの接種歴がなく麻疹に罹ったことのない方は、入学前にワクチン接種をお願いします。また、1回みのワクチン接種で10年以上経過している場合は、かかり付けの医師と相談し、2回目のワクチン接種を受けるか、免疫力の有無を確認するために、抗体検査をすることをお薦めします。

### 教育実習・介護実習を予定している学生の皆さんへ

- 1) 麻疹をはじめとする感染症について、抗体価が低下している場合には、教育実習等に参加できない場合があります。初めて教育実習・介護実習に参加する学生は、早めに医療機関で抗体検査を行ってください。その結果、抗体価が低下している場合には2回目のワクチン接種を行ってその証明書を入手してください。
- 2) なお、抗体検査の結果やワクチン接種を証明するものは大事に保管してください。必要に応じて提示を求められる場合があります。

健康診断時に麻疹について問診します。

(問い合わせ先) 保健管理センター

028-649-5123